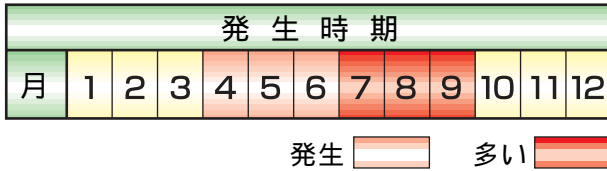


# ネコノミとイヌノミ

猫や犬だけでなく人も刺す虫



最近、室内で犬や猫を飼う人が増えていますが、ノミによる吸血被害も多くなっています。また、ベランダや砂場、芝生の中にも生息し、近づいたペットや人にとびつき吸血します。

## 生態

室内でペットから離れたノミは、タタミやジュータンのほこりの中で卵を産みます。ノミの幼虫はウジ状で、サナギから成虫になったあとで、ペットや人間を吸血します。

## 被害

被害の大部分は、吸血後のかゆみです。被害を受ける部位は、ペットを抱いた腕（手からひじ）や、女性の場合はひざから足首に集中します。刺されたあとの発赤、腫脹は体質によってはかなり大きく、蚊の場合よりかゆさがしつこく残り、数日間続きます。数日後に搔くと、再び腫れてかゆさがぶりかえしてくる特徴があります。

## 対策

ペットに寄生した成虫の除去が基本となります。除去の方法としては、ノミ取りシャンプーやノミ取り首輪を使用します。タタミやジュータン等、ノミが生息しやすい場所には、掃除機をていねいにかけて、卵や幼虫を吸い取るようにします。



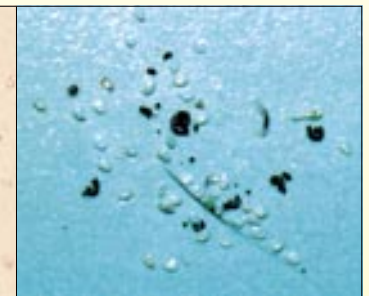
イヌノミ成虫(体長3~4mm)



ネコノミ成虫(体長2~3mm)



ネコノミ幼虫(体長約4.5mm)



ネコノミ卵



被害写真

(写真提供：東京都)